

# 第1編 令和4年度予算の全体像

## I 基本方針

令和4年度は、「えべつ未来づくりビジョン」の10か年計画の9年次目を迎えます。「えべつ未来づくりビジョン」に掲げた「4つのまちづくりの基本理念」と、基本理念の根幹となる「協働のまちづくり」の考え方を踏まえたまちづくりを進めます。



令和4年度当初予算は、この基本理念に基づいた「まちづくり政策」を推進するため、「えべつ未来戦略」を政策の中核に据えて重点的・集中的に取り組みます。

また、人口減少と地域経済縮小の克服、まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立のため、「江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を効果的に進めていきます。

さらに、ウィズコロナやポストコロナを見据え、市民生活や市内経済の立て直しに向けて、国の動向や社会情勢を踏まえつつ、保健・福祉や経済など、各分野において必要な施策を進めていきます。

成人検診推進事業

(がん検診受診促進経費)

9,498千円

がんの早期発見、早期治療による重症化の予防のため、がん検診の受診勧奨を行います。

- ◆ **拡大** 自己採取HPV検査事業の対象年齢拡大 (検査案内の対象年齢に41歳を追加)
- ◆ 個別受診勧奨 (特定の年齢に対する無料クーポン送付)

障害児・障害者

日常生活用具給付費

52,100千円

在宅の重度障がい児(者)が、日常生活を営むうえで、の不便を解消し、日常生活を容易に過ごせるよう、各種日常生活用具を給付します。

- ◆ **新規** 日常的に電気式の医療機器を使用している方を対象として、非常用電源装置を給付項目に追加

障害者就労相談支援事業

10,117千円

障がい者の就労に関する相談、企業の障がい者雇用に関する相談窓口の設置など、障がい者の社会的自立を促進します。

- ◆ 障がい者や企業からの総合的な就労・雇用相談、障害福祉サービスとのマッチング
- ◆ 就労者への職場巡回、来所相談等による定着支援

障害者社会参加支援事業

5,793千円

専任手話通訳者の配置や手話通訳者・要約筆記者の派遣、点字・音声による広報えべつ等の発行など、障がい者の自立や社会参加を促進します。

- ◆ 手話通訳者・要約筆記者の派遣
- ◆ 「点字広報」、「声の広報」の発行
- ◆ タブレットによる「遠隔手話サービス」の提供



介護人材養成支援事業

14,875千円

市と市内の介護事業者が連携を図り、入門的研修による新規人材の発掘や介護事業所での実習などの就労支援の実施により、介護人材の確保と市内の介護事業所への定着を図ります。

- ◆ 介護に関する入門的研修の実施
- ◆ 介護職員初任者研修の受講による資格取得及び市内の介護事業所での職場実習

市民後見推進事業

12,892千円

成年後見制度の普及や市民後見人の活動体制を整備するため、相談支援機関の運営や人材育成に取り組みます。

- ◆ **拡大** 成年後見支援センターの体制強化に伴うコーディネーターの配置
- ◆ 成年後見支援センターの運営
- ◆ 市民後見人フォローアップ研修

福祉除雪サービス事業

23,858千円

高齢者や障がいのある方へ除雪費用の一部を助成することにより、冬期間も安心して地域で暮らせるよう支援します。

- ◆ 間口除雪費用の助成



その他主要事業 (政策03)

■ 社会福祉協議会補助金	101,015千円	■ 生活困窮者自立支援事業	32,714千円
■ 夜間急病センター運営経費	145,884千円	■ 年末見舞金支給事業	13,862千円
■ 高齢者予防接種経費	62,906千円	■ 後期高齢者健診推進事業	18,510千円
■ 障害者自立支援給付費	3,463,022千円	■ 生活保護費	2,750,000千円
■ 障害者自立支援給付費 (児童)	1,207,833千円	■ 国民健康保険会計繰出金	1,046,160千円
■ 自立支援医療給付費	222,748千円	■ 後期高齢者医療会計繰出金	473,649千円
■ 重度心身障害者医療費助成事業	207,700千円	■ 介護保険会計繰出金	1,675,793千円
		■ 病院事業会計繰出金	1,417,503千円



子ども医療費助成事業

188,600千円

子どもの医療費の一部を助成することで保護者の負担軽減を図ります。

- ◆ 0歳～小学3年生の通院医療費助成
- ◆ 中学生以下の入院医療費助成



民間社会福祉施設

整備費補助事業

420,312千円

民間事業者が行う教育・保育施設の整備に対し補助を行うことで、快適な保育環境の整備や待機児童の解消を促進します。

- ◆ **新規** 保育支援システム導入に係る補助
- ◆ 新型コロナウイルス感染症対策のための整備補助
- ◆ 民間教育・保育施設の整備に対する補助
- ◆ 保育所等における事故防止推進事業補助

市立保育園施設整備事業

24,990千円

公立保育園において、安全・安心な保育の提供のために必要な施設等の改修を行います。

- ◆ **新規** 保育支援システムの導入
- ◆ 新型コロナウイルス感染症対策のための改修整備
- ◆ よつば保育園ホール床改修

教育・保育施設等

給付事業 3,448,881千円

民間法人等が運営する教育・保育施設等に対し、国が定める公定価格に基づく給付費を支給するほか、認可外保育施設等の無償化にかかる施設等利用費を支給します。

- ◆ 教育・保育施設等への給付費支給
- ◆ 国の制度に基づく幼児教育・保育の無償化



ぼこあぼこ

親子安心育成支援事業

(子育てひろば事業) 29,868千円

商業施設内に開設した子育てひろば『ぼこあぼこ』を運営します。季節や天候を問わない全天候型で、大型遊具やクライミングウォールなどを備え、子どもが自由に遊べる空間を提供します。

- ◆ **拡大** 託児ルームの拡充(0歳の一時預かり開始)
- ◆ 子育てひろば『ぼこあぼこ』の運営
- ◆ 子育て講習会等の開催
- ◆ 子育て支援コーディネーターによる子育て相談

子育てサービス利用者支援事業

7,059千円

子育て支援コーディネーターを配置し、教育、保育、保健その他の子育て支援情報の提供並びに、利用者からの相談に応じた必要な助言等を行い、地域の子育て家庭にとって適切な施設や子育てサービスの利用を促進します。

- ◆ **拡大** 出生届・転入届出時の面談実施
- ◆ **拡大** 4か月児健診受診者との全数面談
- ◆ **拡大** 子育て支援センターにおける出張相談の実施

【関連事業】

江別まちなか仕事プラザ事業 22,937千円 (政策02)

就労支援拠点を設置し、働きたい女性やシニア層等の社会参加向上と企業の雇用確保・拡大に向けた各種取組を推進します。

- ◆ **拡大** 子育て応援企業紹介 (子育て世代に向けた企業紹介パンフレットの発行)
- ◆ 女性を対象とした就労支援セミナー等の開催



小中学校ICT環境整備事業

42,385千円

教育現場のICT環境整備など、教育の情報化を進めることで校務の効率化を図り、教職員の働き方改革を推進します。

- ◆ 校務支援システム運用経費
- ◆ 校務用パソコン等ICT機器維持管理経費
- ◆ 校務用パソコン、ファイルサーバ更新（償還金）



児童生徒体力向上事業

648千円

北翔大学の協力のもと、小学生向けに基礎的な運動を継続的に実施する「体力向上プログラム」を実施します。

- ◆ 体力向上プログラムの実施（江別がときめくスポーツにトライ大作戦）
- ◆ 出前授業の実施（5校予定）
- ◆ 走り方教室の実施

新規 公立夜間中学就学支援事業

1,393千円

中学校を卒業していないなど、様々な事情により学び直しを希望する市民に対し、学びの機会を確保するため、令和4年度に開校する公立夜間中学（札幌市）への就学を支援します。



新規 江別の魅力「食」と「自然」を満喫できる体験型学習事業

458千円

「自然環境」や「地場産品」を通じて、江別の持つ魅力が子どもたちに理解されるような体験型学習を実施します。

- ◆ えみくるを会場とした体験型学習  
地場産品を活用した食育  
自然体験学習・異年齢交流



新規 【関連事業】

道産木材を活用した魅力的な遊び場創設事業（政策02）

39,300千円

都市と農村の交流センター（えみくる）の豊かな自然環境の中に大型木製遊具を設置し、幅広い世代の施設利用を促し、江別の魅力を感じてもらおうとともに既存施設のPRを行います。

- ◆ 木製遊具設置及び付帯設備工事

放課後児童クラブ  
待機児童対策事業

4,946千円

放課後児童クラブにおける待機児童対策として、児童センターにおいて受け入れる体制を整備し、子育てと就労の両立を支援します。

- ◆ 待機児童のランドセル来館による受け入れ
- ◆ 児童が放課後等に安全に過ごすことができる場の提供



児童センターでの活動

その他主要事業（政策06）

■ 保育園運営経費	140,747千円
■ 一時預かり事業	109,719千円
■ 病児・病後児保育事業	31,674千円
■ 児童手当	1,571,910千円
■ 児童扶養手当	421,367千円
■ 子ども家庭総合支援拠点運営経費	7,118千円
■ ひとり親家庭等医療費助成事業	37,900千円

■ 予防接種経費	267,213千円
■ 妊産婦健康診査経費	54,647千円
■ 情報教育推進事業	46,057千円
■ 特別支援教育推進事業	39,029千円
■ 特別支援学級生活介助事業	54,975千円
■ 学校給食事業	282,560千円
■ 小・中学校教育扶助費	172,100千円



# 特別会計

25,605,000千円 (前年比+311,000千円、+1.2%)

## 国民健康保険特別会計

12,332,000千円

国民健康保険の被保険者に対して、疾病、負傷、出産又は死亡に関する保険給付や健康の保持増進に向けた事業を実施します。

- ◆ 北海道国民健康保険運営方針に基づき、北海道と一体となって国民健康保険の適正な運営に努めます。
- ◆ 資格管理や保険給付の適切な実施とともに、医療費の適正化に取り組みます。
- ◆ 特定健診の受診促進や保健事業を推進します。

## 後期高齢者医療特別会計

1,987,000千円

主に75歳以上の方が加入する後期高齢者医療保険制度について、被保険者証の交付や保険料の管理、各種申請受付等の事務を行います。

- ◆ 被保険者から収納した保険料を、北海道後期高齢者医療広域連合へ納付します。
- ◆ 所得が少ない方の保険料軽減のため、一般会計から繰り入れを受けます。

## 介護保険特別会計

11,184,000千円

高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、介護保険事業の円滑な運営を図ります。

- ◆ 第8期介護保険事業計画（令和3年度からの3か年計画）を推進します。
- ◆ 介護予防の取組や地域包括支援センターの運営のほか、認知症施策などの地域支援事業を実施します。

## 基本財産基金運用特別会計

102,000千円

江別市有林処分金をもとにした市の財政に寄与するための基本財産基金について、その運用の経理を明確にするための会計です。

- ◆ 基金で保有している土地の管理経費
- ◆ 市の投資事業等に対する債権運用
- ◆ 土地・現金の運用益の基金への繰り出し

# 公営企業会計

18,570,723千円 (前年比+1,428,155千円、+8.3%)

## 水道事業会計

3,928,037千円

- ◆ 水道事業では、災害に強く安定した給水を行うため、引き続き基幹管路の耐震化と老朽配水管の布設替等による管網整備を行うほか、上江別浄水場の設備更新等を実施します。

## 下水道事業会計

5,455,488千円

- ◆ 下水道事業では、安全で快適な生活環境を確保するため、老朽化した下水道管路の改築・更新を行うほか、浄化センター・ポンプ場の設備更新等を実施します。

## 病院事業会計

9,187,198千円

- ◆ 国の施策を踏まえて、引き続き新型コロナウイルス感染症対応に取り組むとともに、「江別市立病院経営再建計画」に基づき、診療体制の再構築や経営改善策を着実に実行し、収支均衡の実現を目指します。
- ◆ DPC対象病院として急性期医療の充実、制度に対応した収益性の高いマネジメントを実施します。
- ◆ 医療資源を効果的に活用し外来機能の高度化、専門化を図ります。
- ◆ 他の医療機関との連携強化による紹介患者の積極的受入れと逆紹介を推進します。
- ◆ 医療情報システムを更新し、業務の平準化・効率化を推進します。
- ◆ 病院ホームページをリニューアルし、市民や医療関係者、求職者等に対する広報活動を充実させます。
- ◆ 地方公営企業法の全部適用へ移行し、ガバナンス強化と人材育成に資する組織づくりに取り組みます。



江別市水道庁舎



江別市立病院